

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度第1回長岡市寺泊水族博物館協議会
2 開催日時	平成30年 7月 13日(金) 午後3時00分から午後4時45分
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター(はまなす) 3階小研修室
4 出席者名	協議会委員 大浦方委員、金内委員、古川原委員、品田委員 遠山委員、中川委員、柳下委員  委員以外の出席者 金澤教育部長、菅沼寺泊支所地域振興課長 河上政策企画課課長補佐、小熊科学博物館長  (事務局=寺泊水族博物館) 青柳寺泊水族博物館長、安藤主査、矢引主査、坂部学芸員
5 欠席者名	石井委員、田中委員、山田委員
6 議題	報告(1)平成30年度事業実施計画・状況について  (2)水族博物館整備事業の計画(概要)について
7 審議結果の概要	(1)平成30年度事業実施計画・状況について 概要を事務局より報告、説明  (2)水族博物館整備事業の計画(概要)について 概要を事務局より説明

8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 平成30年度事業実施状況・計画について (資料により説明) 主な意見は次のとおり。</p>
委員	<p>飼育員が観覧者に解説をするスポット解説だが、とても印象に残る体験なので是非続けてほしい。</p>
事務局	<p>今後も積極的に解説を行っていききたい。</p>
委員	<p>リピーター獲得についてだが、年間パスポートを取り入れてはどうか。検討したが、宣伝効果はあるものの運営側にとってメリットがないため取り入れていない。リピーター獲得の方策としては冬期に中学生以下の子ども入館料無料キャンペーンを行っている。また今年4月から、新たに入館料レシートに割引クーポンを印字し、それを持参したお客様に対して入館料を割引くサービスを実施し誘客に努めている。</p>
委員	<p>職場体験の受入れ状況はどのようになっているか。</p>
事務局	<p>職場体験は申し出により逐次対応している。平成29年度は7校の生徒を受け入れた。生徒たちは餌の準備や餌やり、展示水槽、ペンギンプールの清掃など主に飼育管理の仕事を体験した。思ったより肉体労働で大変だったという声が聞かれた。</p>
委員	<p>8月から寺泊地区に長岡市トキと自然の学習館がオープンする。どのような連携をするのか色々な部署から意見を募り考えてはどうか。</p>
事務局	<p>長岡市トキと自然の学習館からまだアプローチはないが、今後具体的に検討していきたい。</p>
委員	<p>トキを観察できる施設としては県内で佐渡に次いで二番目となるので話題になると思う。水族館とトキの公開施設の両方を見学してもらうために、スタンプラリーを行ったり、モニターを設置して水族館でもトキのリアルタイムの映像を見れるようにしてはどうか。相互にとってチャンスとして捉え活かしてほしい。</p>
委員	<p>スポット解説を始めとする普及活動について、限られた人員で飼育作業に当たっていて大変だとは思いますが、今行っている作業を見直し、スポット解説を始めとする普及活動にあてる時間を増やす工夫をしてはどうか。</p>

事務局	<p>以前はテッポウウオの餌取り射撃のショーの時、飼育員による解説はなかったが、今は時間前にお客様へ声かけをし、飼育員が解説をするように改善を図った。今後もスポット解説やテッポウウオの餌取り射撃解説など、普及活動や催しをさらに充実させるために作業の効率化や改善を図っていきたい。</p>
委員	<p>ガラルファの体験展示について、大きなガラルファにつつかれると人によっては少し痛みを感じる。切り傷のところをつつかれた時、思ったよりも強くつつかれて驚いた。小さい子どもは驚くのではないか。</p>
事務局	<p>小さい子どものいるお客様向けに注意を促していく。</p>
委員	<p>宣伝用ポスターをあまり見かけない。子どもが多く来館する児童館にも掲示してもらってはどうか。 冬期の子ども無料期間キャンペーンについて、まだ知らない人も多くいる。周知の方法はどのようにしているのか。</p>
事務局	<p>宣伝用ポスターだが、今後は小学校や保育園だけでなく児童館にも掲示を依頼し多くの子ども達の目に触れる機会を作っていきたい。小学校の他、道の駅等様々な場所に配布しているが、ポスターの掲示スペースがどこも限られており、掲示を依頼しても実際は掲示されないこともある。今年度はポスターのサイズを小さくして掲示してもらえよう工夫をした。冬期の子ども無料キャンペーンは、昨年度は長岡市内の全小学校、保育園にパンフレットを配布し周知した。また、市政だより等の各種広報やケーブルテレビの情報番組で宣伝誘客に努めた。今後も継続して行っていきたい。</p>
委員	<p>錦鯉の展示について、錦鯉は長岡市の魚であり山古志地域が錦鯉発祥の地と言われている。発祥の地として相応しい見応えのある錦鯉の展示を期待している。 鮭の稚魚の飼育展示について、鮭の稚魚の飼育は近隣の小学校の多くが学習の一環として行っている。それを水族館の大きな水槽で実際に目にすることができ、すばらしいと感じた。 子ども達に身近な川魚のオイカワやナマズの展示も力を入れていて感心した。</p>
事務局	<p>昨年冬、塩害で屋外展示の錦鯉が相当数死んでしまった。山古志地域の錦鯉の生産組合と連絡をとっており、今現在、話を進めているところである。錦鯉が長岡市の魚であることは十分承知しているので、</p>

<p>事務局</p> <p>委員 事務局</p> <p>委員 事務局</p> <p>委員長</p>	<p>塩害対策をしっかりして展示の更なる充実を図っていききたい。 信濃川水系の淡水魚類の展示についても、光の当て方や見せ方を工夫するなどして展示の充実を図っていききたい。</p> <p>(2) 水族博物館整備事業の計画（概要）について （資料により説明） 主な意見は次のとおり。</p> <p>トイレの洋式化についてはいつ頃完了するのか。 予算がつき次第順次実施していく。</p> <p>今後の方向性はどのようになっているのか。 今後の建物、機械設備の改修については必要に応じ計画的に進める。 今後の方向性については、寺泊港の利活用や水族博物館協議会のこれまでの意見も踏まえ水族博物館構想の策定に向けて、政策企画課、寺泊支所、教育委員会等が連携して全庁的に検討作業を進める。</p> <p>以上で閉会とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>